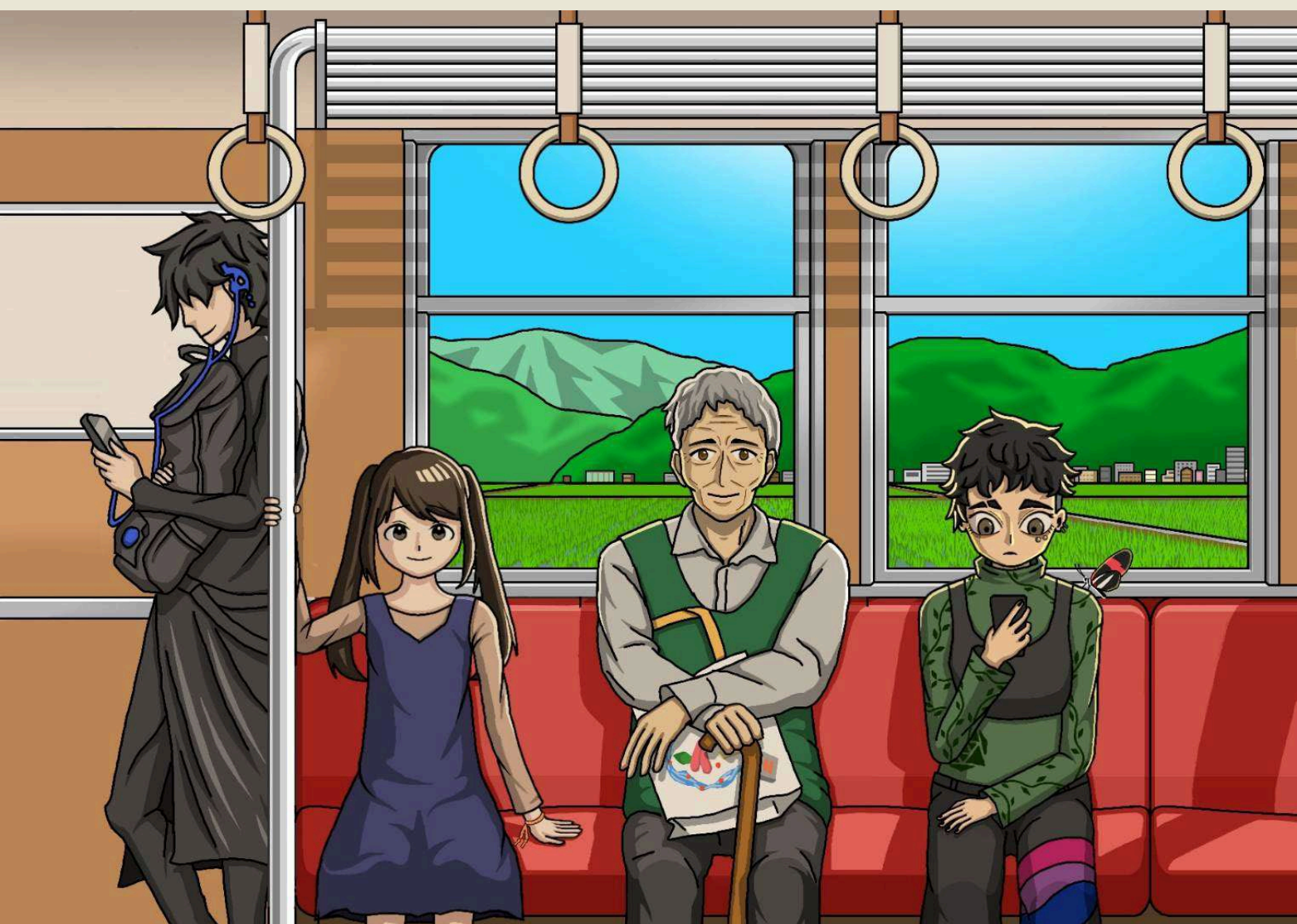


生涯学習センター 公開講座のご案内

4月～9月



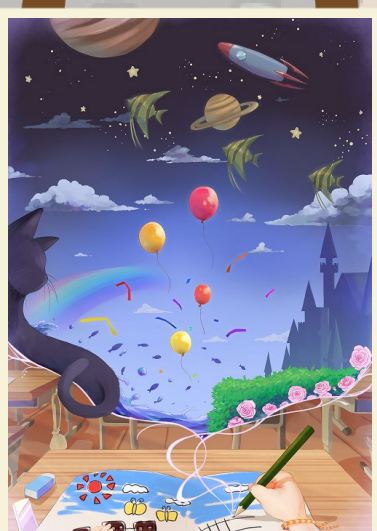
ごあいさつ

生涯にわたる多様な学び継続のための公開講座

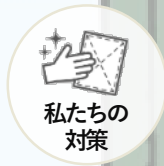
大学という「場」には、数多くの学問と、そこに積み重ねられた豊富な「知」があります。長い歴史を持つ大阪市立大学と大阪府立大学を統合して誕生した大阪公立大学は、一層多様な学問分野とそこに蓄積された豊富な「知」が結集する、より大きな総合大学となりました。そのような多様で豊富な「知」を活かしながら、本学では、生涯にわたる学び実現のための、さまざまな取り組みや学習機会を提供していくことを目指しております。

本公開講座でも、みなさまの「生涯にわたる多様な学び」の継続に活かしていただけるような、人文、社会、IT、理工、ライフサイエンス、生活・健康の各分野とそれらの分野横断のものなど、幅広い分野やテーマの講座を企画し提供していきたいと考えております。本学の公開講座における「多様な学び」への、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

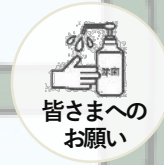
生涯学習センター長 飯吉 弘子



安心安全に受講していただくための 対策とお願い



- ・常時空調運転による**換気を実施**しています。
- ・講座の前後に教室内、施設内を**消毒**しています。



- ・発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。
- ・会場では**基本的な感染症対策（手指消毒、換気の実施等）**にご協力ください。



Meet 学問に出会う

難易度 ★ (初心者歓迎)

■ カント美学について	P4
開催日 5/29~6/26 定員 60名 受講料 5,000円 (全5回分)	I-siteなんば 人文
■ みんなで学ぼう薬の基礎知識	P5
開催日 4/13~5/25 定員 60名 受講料 5,000円 (全5回分)	I-siteなんば ライフサイエンス
■ 『宇治拾遺物語』の説話を読み解く	P6
開催日 4/16~6/18 定員 各60名 受講料 7,000円 (全10回分)	I-siteなんば 人文
■ 絵画を通して読み解くフランス文学	P7
開催日 5/15~7/17 定員 60名 受講料 7,000円 (全10回分)	I-siteなんば 人文
■ 運動実践型ヘルス・イノベーション・ラボ	P8
開催日 5/8~6/26 定員 40名 受講料 6,000円 (全8回分)	中舌鳥キャンパス 生活・健康
■ 公大講座	P9
開催日 9/3~9/24 定員 60名 受講料 5,000円 (全7回分)	I-siteなんば 横断

Enrich 学問を深める

難易度 ★▶ (要基礎知識) ~★★★★ (専門職向け)

■ 韓国語講座初級編	P11
開催日 4/13~2/22 定員 35名 受講料 20,000円 (全22回分)	I-siteなんば 人文

公開講座の会場

※地図は本冊子P16をご覧ください。

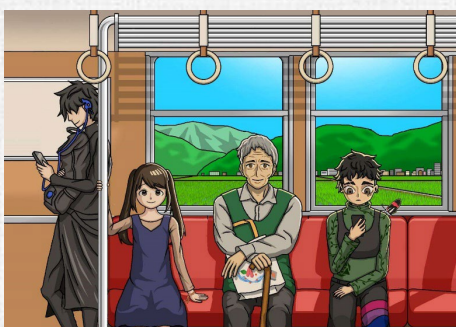
公開講座のカテゴリー

※各講座の右上に表示しています。

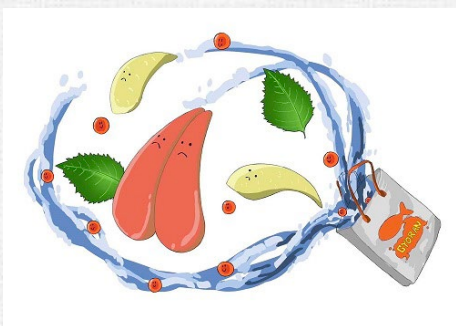
人文 (哲学、歴史、教育、心理、言語、文学、芸術、文化 など) 社会 (経営、経済、法学、政治、都市防災 など)
 IT (情報、通信、人工知能 など) 理工 (数学、自然科学、工学 など) ライフサイエンス (生物、農学、獣医学 など)
 生活・健康 (医学、看護、福祉、栄養、居住、スポーツ など) 横断 (分野横断) その他

- ・ 受講生本人以外の代理出席、同伴、見学はできません。
- ・ 駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。
- ・ 受講に際し、障がい等を理由としてなんらかの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・ 講義中、講師や他の受講生に迷惑になるような行為、その他本学が講座運営上不適切と判断する行為があった場合は、受講資格を取り消すことがあります。
- ・ 感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。
- ・ 上記のほか、受講にあたってのご案内・注意事項はP14～15をご覧ください。

本冊子に掲載している下のイラストは、本学美術部員が制作しました。



「ある午後の車内」 金広直樹さん



「GYORAN」 金沢楓さん



「たから物」 熊切遥子さん



「お茶の時間」 森颯太さん



「龍心スカラーベイト」 六峰冴藍さん

Meet

学問に出会う



受付開始
4月上旬

カント美学について

難易度 ★ (初心者歓迎)

人文

日時：5月29日(水)～6月26日(水) 10:00-11:30 各水曜日・全5回

定員：60名 受講料：5,000円 (全5回分)

Webページ公開・申込受付開始：4月上旬～

I-siteなんば

講義概要

西洋近代美学を基礎づけ、今なおあらゆる美学思想の参照点であり続けるカントの「美学」（『判断力批判』[1790年]の前半部「美的判断力の批判」で取り上げられる美や芸術をめぐる思想）を紹介し、そこに含意された人間と世界の相関性について探りたいと思います。

講師 高梨 友宏（大阪公立大学大学院 文学研究科 教授）

講義スケジュール



「美学」の誕生からカント美学へ

第1回
5月29日(水)

「美学」が西洋の哲学の歴史に登場したのは1750年に刊行されたバウムガルテンの『美学』によります。そこで規定された「感性的認識の学」としての美学を、カントはどのように批判的に受容したのでしょうか。カント美学の前史をたどり、併せてカント美学の特性を探ります。

美の分析論 — 趣味判断の4つの構成契機（1）

第2回
6月5日(水)

ある対象を「美しい」と判断する「趣味判断」は無関心性、無概念性、目的なき合目的性、必然性の4契機から成ります。そのうち前二者について取り上げ、関心と概念を欠く「趣味判断の主観的普遍妥当性」のあり様を考えます。

美の分析論 — 趣味判断の4つの構成契機（2）

第3回
6月12日(水)

上記の趣味判断の4契機のうち、後二者について取り上げます。ある対象が「美しい」と判断されているとき、対象の表象は目的の概念を欠きながらなお合目的であると感情において判断され、かつこの判断が必然性の様相を持つとされます。その意味を考えます。

芸術論 — 「自然は芸術のように、芸術は自然のように見えるとき、美しい」

第4回
6月19日(水)

芸術は人為的な技術の産物でありながらなお自然に見えるときに、また自然はあたかも意図された技術の産物のように見えるときに、それぞれ美しいと判断されています。このカントの言葉はどのような含意を持つのでしょうか。カントの芸術論を紹介しながら、自然と技術の関係について考えます。

カント美学が含意するもの — 美は人間の内的調和の世界への投影

第5回
6月26日(水)

カントの美学は人間の認識能力における調和と、この調和がいわば投影された世界の見え方にかかわっています。機械論と目的論の媒介のもとに美しく表象される世界の見え方が、人間の内的調和を再帰的に自覚させるカント美学の隠された機能について考えたいと思います。

受付中

みんなで学ぼう薬の基礎知識 ～私たちの健康を守る創薬研究の道のり～

難易度★（初心者歓迎）

ライフサイエンス

講座の詳細・申し込み▶



日時：4月13日(土)～5月25日(土) 15:00-16:30 各土曜日・全5回

定員：60名 受講料：5,000円（全5回分）

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-03787.html>

I-siteなんば

講義概要

私たちの健康や生命を守るのに、なくてはならないのが「薬」です。この講座では、薬とは何なのかを基礎からわかりやすく解説します。「薬がいつ頃から使われるようになったのか」、「大麻、麻薬、覚醒剤のちがいはなにか」、「コロナ・ワクチンとインフルエンザ・ワクチンは何がちがうのか」といった、薬にまつわる身近な疑問に答えていきます。また、新しい薬はいったいどのように生み出されているのか、「創薬」の世界にも目を向けます。薬を創り出すこと、すなわち「創薬」は、人類社会に対する最も大きい貢献の一つで、私たちは日々その恩恵にあずかっています。創薬と社会との関わり、また、薬ができるまでの長い道のり、さらに、がんを狙い撃ちする最先端の医薬品（抗体医薬）についてもわかりやすく解説します。

講師 藤井 郁雄（大阪公立大学 研究推進機構 特任教授）



講義スケジュール

薬とはなにか

第1回
4月13日(土)

薬の起源は、紀元前4000年頃までさかのぼります。当時は植物が薬として使用されました。近代になると植物に含まれる有効成分のみが取り出され、利用されるようになりました。どのようにして薬が発見されてきたのか、その長い歴史について解説します。

麻薬とはなにか

第2回
4月20日(土)

がん疼痛治療法として用いられる「モルヒネ」は、近代に生まれた薬のひとつです。1804年にアヘンに含まれる有効成分として取り出されたモルヒネには、多幸感を感じさせる、いわゆる麻薬としての側面もあります。そこで、サイエンスの立場からアヘンの光と影（功罪）について考えてみましょう。また、大麻や覚醒剤との違いについても解説します。

薬が開発されるまでの長い道のり

第3回
4月27日(土)

日本では、ひとつの薬ができるまでに、9～17年もの歳月を要します。その間にかかる費用は約800億円といわれています。新薬の開発成功率は約3万分の1とも言われ、ほとんどの候補物質は途中の段階で断念されています。新薬開発のプロセスとその問題点について解説します。

新型コロナウイルスワクチン：免疫と抗体

第4回
5月18日(土)

無数の細菌やウイルスに囲われている私たちがそう簡単に病気にならないのは、免疫による防御により、体を外敵から護っているからです。外敵を最終的に叩くのは、免疫が創り出す抗体です。コロナ・ワクチンの接種により感染防御しているのも抗体なのです。その実に巧妙なからくりをできるだけ平易に解説します。

がんを狙い撃ちする抗体医薬

第5回
5月25日(土)

科学、医学が進歩するのにもとない、薬が変わってきました。近年では、インスリンやインターフェロンなどのように生体成分を利用したものが多くなってきています。バイオテクノロジーの発達により、このような薬が大量生産できるようになってきました。抗体医薬など最先端の医薬品について解説します。

受付中

『宇治拾遺物語』の説話を読み解く

難易度★（初心者歓迎）

人文

講座の詳細・申し込み▶



日時：4月16日(火)～6月18日(火) 午前の部 11:00-12:30、午後の部 14:30-16:00 各火曜日・全10回

定員：各60名 受講料：7,000円（全10回分）

URL：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-03766.html

I-siteなんば

講義概要

鎌倉時代13世紀前半に成立したという『宇治拾遺物語』は、全部で197話からなる説話集です。話の内容は序文に言うように、天竺・大唐・日本に及び、さらに「貴き事」「をかしき事」「恐ろしき事」「哀れなる事」「きたなき事」もあって、さらには「少々は空物語」までであるといわれます。個々の説話に、殊更な教訓性や説示性を付与することは少なく、説話そのものに語らせようとする姿勢も顕著で、読者は自らの関心や知識に応じて如何ようにでも話を読み込み、楽しむことの出来る説話集だとも言えます。この講座では、そんな面白い説話集から、毎回ひとつないしは複数の説話を取り上げ、楽しく読み解きながら、背後にある当代の思想・信仰・世界観についても知見を深めることをめざします。

講師 田中 宗博（大阪府立大学 名誉教授）



講義スケジュール

- | | |
|------------------|--|
| 第1回
4月16日(火) | 稚児説話 2 題 — 狸寝入りする稚児と落花を泣く稚児 —
比叡山で暮らす稚児について語る 2 説話（第12・13話）を取り上げて、女人禁制の寺院内に暮らすお稚児さんと、僧侶との関係性の機微について考えます。 |
| 第2回
4月23日(火) | 哄笑の説話 — 「狂惑の法師」とその仲間たち —
貴顕の宅を訪問し言葉巧みに金品を詐取せんとする法師をめぐる 2 説話（第5・6話）を読解し、笑話としての性格や背後の寛容な人間理解について考えます。 |
| 第3回
4月30日(火) | 怪異説話 3 題 — 「空物語」とは何か —
158～160話に配される化け物語を取り上げ、怪異説話としての読解を深めると共に、意識的に嘘であることを暗示する説話の語り（空物語？）についても考えます。 |
| 第4回
5月7日(火) | 序文の示すもの — 散佚『宇治大納言物語』と仮構された説話聴取の〈場〉 —
『宇治拾遺』序は後補の可能性も疑われますが、先行『宇治大納言物語』の成立過程を伝える説話と読むことも可能です。『今昔物語集』を含む、説話伝承関係についても講じます。 |
| 第5回
5月14日(火) | 絵仏師良秀の話 — 芥川龍之介「地獄変」との関係において —
芥川「地獄変」（大正7）は『宇治拾遺』第38話を構想の原拠とします。世俗を超越する異能を自負する良秀の、画業にかけた執念に芥川は何を見ようとしたかを考えます。 |
| 第6回
5月21日(火) | 地蔵と邂逅した尼の話 — 地方一庶民の信仰と救済 —
名も無き田舎の庶民である老尼が、欺されることも厭わない至純の信心によって、生身の地蔵に値遇した話（第16話）を読み、『宇治拾遺』の語りの方法を考えます。 |
| 第7回
5月28日(火) | 石橋の下の蛇の話 — 平安京に生きる女性達の世界 —
第57話は、蛇の復讐・女性への侵犯を匂わせて展開しますが、末尾は良縁・致富の大団円に至ります。巧みに情報を制御し、読者の関心を領導する語り口について考えます。 |
| 第8回
6月4日(火) | 成らぬ柿の木に現じた偽仏 — 『今昔物語集』所載話との比較対照 —
第32話は、『今昔物語集』20-3と同話関係にありますが、情報の繁簡の差が著しくあります。『今昔』とは異なる、雑纂的な『宇治拾遺』ならではの説話含意について考えます。 |
| 第9回
6月11日(火) | 腰折れ雀の話 — 昔話と説話集の関係について —
『宇治拾遺』には癩取り・藁しべ長者の如き、昔話と関わる説話が散見しますが、第48話は舌切り雀とも関わる一話です。口頭の昔話伝承との差異について考えます。 |
| 第10回
6月18日(火) | 虎と鰐の死闘を見る話 — 動物葛藤説話と異国認識について —
日本に棲息しない異国の猛獣＝虎は、どのように認識され表徴されたのでしょうか。サメとの対決を語る第39話を、第155・156話もあわせて、動物説話の中で位置付け考えます。 |

受付開始
3月下旬

絵画を通して読み解くフランス文学

難易度 ★ (初心者歓迎)

人文

日時：5月15日(水)～7月17日(水) 14:30-16:00 各水曜日・全10回

定員：60名 受講料：7,000円 (全10回分)

Webページ公開・申込受付開始：3月下旬～

I-siteなんば

講義概要

フランス文学と造形芸術の関わりは深く、画家、彫刻家を主人公とする芸術家小説が数多く見出せます。しかし、小説の人物描写において絵画の比喩が使われるようになったのは、「芸術の大衆化」が実現された19世紀以降です。本講座では、19世紀の作家と芸術家の親密な関係を考慮に入れながら、小説の中で言及される絵画や彫像を手がかりに、19世紀フランス文学を読み解いていきます。

講師 村田 京子 (大阪府立大学 名誉教授)



講義スケジュール

第1回 5月15日(水)	バルザックとドラクロワ — 『金色の眼の娘』 『ラ・ラブイユーズ』 バルザックは同時代の画家ドラクロワを高く評価し、小説の中で彼の名前や絵画に言及し、彼をモデルとする画家を登場させています。まず、実生活におけるドラクロワとバルザックの関係を見た後、ドラクロワがバルザックの作品に与えた影響を探ります。
第2回 5月22日(水)	
第3回 5月29日(水)	ジョルジュ・サンドとドラクロワ — 『ピクトルデュの城』 サンドはドラクロワと親しく交流したばかりか、女性画家を主人公とする彼女の作品には、ドラクロワの影響が見出せます。それがどのようなものなのか、考察します。
第4回 6月5日(水)	バルザックとジロデ (1) — 『毬打つ猫の店』 新古典主義の画家ジロデの聖母に喩えられる女性が主人公の作品を取り上げます。ラファエロやヘリット・ダウなど様々な絵画も参照しながら、その女性像を探ります。
第5回 6月12日(水)	バルザックとジロデ (2) — 『知られざる傑作』 天才的な画家を主人公とする作品を取り上げ、物語の中で展開される絵画論をジロデの絵画論と比較します。アングルやティツィアーノのヴィーナス像との関連も探ります。
第6回 6月19日(水)	画家のアトリエ — バルザック 『ラ・ヴェンデッタ』、デボルド=ヴァルモール 『画家のアトリエ』 画家のアトリエが小説の舞台となる二つの作品を比較し、男性作家と女性作家の視点の違いを、絵画を通して明らかにします。
第7回 6月26日(水)	ピグマリオン神話 — テオフィル・ゴーチエ 『金羊毛』 ルーベンスの絵画を軸に展開するゴーチエの小説を取り上げ、バルザックの『知られざる傑作』と比較しながら、ピグマリオン神話と関連づけて検証します。
第8回 7月3日(水)	ゴーチエの「石の夢」 — 『カンダウレス王』 ゴーチエの作品世界で完璧な美しさを持つ女性はすべて、大理石の彫像に喩えられています。彼の「石の夢」を実現した小説を取り上げ、それがどのようなものなのか、小説と密接に関わりのある絵画・彫像を参照しながら考察します。
第9回 7月10日(水)	バルザックにおける「宿命の女」像 — 『砂漠の情熱』 『従妹ベット』 妖艶な肉体で男を誘惑し、破滅に追いやる女は「宿命の女」と呼ばれています。バルザックの作品において「宿命の女」がどのように描かれているのか、絵画と関連づけながら探ります。
第10回 7月17日(水)	ゾラにおける「宿命の女」像 — 『ナナ』 19世紀後半の自然主義作家、ゾラの小説における「宿命の女」像を、印象派の画家マネなど同時代の画家の絵画と関連させながら考察します。

受付開始
3月中旬

協創研究センター講座

難易度 ★ (初心者歓迎) 生活・健康

運動実践型ヘルス・イノベーション・ラボ ウォーキング編

日時：5月8日(水)～6月26日(水) 14:00-15:10 各水曜日・全8回

定員：40名 受講料：6,000円 (全8回分)

Webページ公開・申込受付開始：3月中旬～

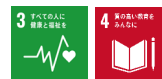
中百舌鳥キャンパス

講義概要

「歩く」という行動は、地面からの反力を移動したい方向への推進力とすることで可能となります。普段、何気なく行っている「歩く」ことをエクササイズとして行うことで、心肺機能や下肢筋力を高めることができます。また、脂質代謝（脂肪燃焼）を促進させる効果もあるため、体脂肪量の減少や生活習慣病の抑制にも繋がります。本講座では、脂質代謝（脂肪燃焼）向上を目的とした運動強度ゾーンでのウォーキングエクササイズを参加者全員で行ないながら、本学の測定機器をお使いいただき、ご自身にあった運動習慣を分析いただきます。

講師 川端 悠 (大阪公立大学 スポーツプログラム開発センター長/国際基幹教育機構 准教授)

講義スケジュール



第1回 5月8日(水) 体組成計測と心拍センサーの活用方法のレクチャー
ウォーキングエクササイズ

第2回 5月15日(水)
第8回 6月26日(水)
ストレッチング&体組成計測
ウォーキングエクササイズ

講義中はご自身でスマートフォンを操作します。

事前にお持ちのスマートフォンに2つの無料アプリをインストールし、アカウント登録をしていただく必要があります。

使用する測定機器

1. Polar Verity Sense :

アームバンドで装着できる軽量でコンパクトな光学式心拍センサーです。スマートフォンに接続し、リアルタイムで心拍数をモニタリングします。

対応アプリ：「Polar Beatラン&フィットネス」 (iPhone版)

「Polar Beat」 (Android版)

2. InBody 470 :

部位別の体脂肪量・筋肉量のほか、水分量・ミネラル量・タンパク質量や基礎代謝などを測定し、体成分のバランスを評価します。

対応アプリ：「InBody」 (iPhone・Android共通)

受付開始
7月上旬

公大講座

難易度 ★ (初心者歓迎)

横断

日時：9月3日(火)～9月24日(火) 10:30-12:00 火曜日または木曜日 全7回

定員：60名 受講料：5,000円 (全7回分)

Webページ公開・申込受付開始：7月上旬～

I-siteなんば

講義概要

大阪公立大学の研究者が自身の教育研究内容の一端を紹介し、さまざまな専門分野についてわかりやすくお話しします。

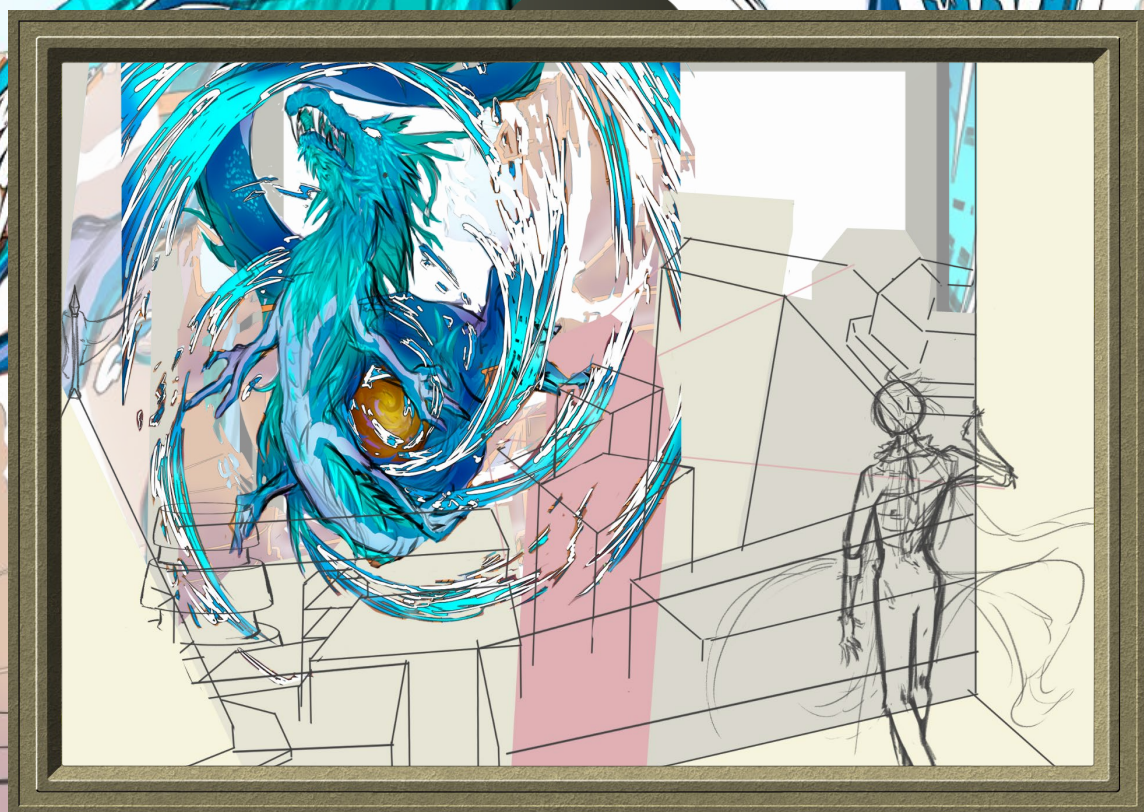


講義スケジュール

- | | |
|-----------------|---|
| 第1回
9月3日(火) | 近代大阪の都市社会史
1920年代の大阪は全国随一の巨大都市に成長しました。この時代の大阪における都市政策の展開について述べるとともに、それが向き合った都市社会問題と大阪市民の生活についても明らかにしたいと思います。
講師：佐賀 朝 (大阪公立大学大学院 文学研究科 教授) |
| 第2回
9月5日(木) | 建築構造学の一研究者のキャリアと夢 —市立大学から公立大学へ—
大阪市立大学建築構造学の教員としての歩みと研究成果の概要を紹介し、大阪公立大学の新しい研究に期待することなどをお話しします。空間構造からジオポリマーへ／新たな建築材料革命に向けて。
講師：谷口 与史也 (大阪公立大学大学院 工学研究科 教授) |
| 第3回
9月10日(火) | 近世と近代の連続と断絶 —大阪府と若松県を素材に—
明治初年の大阪府と若松県を素材に、当時の両地域で利用された法や刑事裁判、そしてそれに携わった人びとにつき解説し、近世と近代との連続と断絶について考えます。
講師：安竹 貴彦 (大阪公立大学大学院 法学研究科 教授) |
| 第4回
9月12日(木) | 基礎から学ぶ高機能・高性能プラスチック材料
プラスチック材料は傷ついたり変形しやすいものが多いのですが、高機能・高性能を活かし重要な用途に使われているものも数多く存在します。ここではプラスチック材料の基本を説明し、機能・性能発現のしくみと研究例を紹介します。
講師：陶山 寛志 (大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授) |
| 第5回
9月17日(火) | 人体の動きとその情報工学的解析
歩行する人間に装着した加速度計、運動をする人間の骨格の3次元の動きを追跡する可視光一赤外線装置、レントゲン画像などのデータを情報工学的に解析した仕事について紹介します。
講師：中島 重義 (大阪公立大学大学院 情報学研究科 准教授) |
| 第6回
9月19日(木) | ポストトゥルース時代の道德教育
フェイクニュースやオルタナティブファクトが飛び交う現代社会は、ポストトゥルース的状况にあるとも言われます。真実や事実が軽視されるような状況下において、道德教育はどのようなものとしてありうるのでしょうか、受講生と共に考えてみたいと思います。
講師：池田 華子 (大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授) |
| 第7回
9月24日(火) | AIが推奨する最も健康になる緑地の利用法とは？
人の健康状態は、生活習慣、社会経済的要因、都市環境要因が複合的に作用して決定されます。本講義では、AIとビッグデータを用いた最新技術により、現代社会における公衆衛生の課題解決と都市緑地の活用を結びつけた研究を紹介します。
講師：大塚 芳嵩 (大阪公立大学大学院 農学研究科 助教) |

Enrich

学問を深める



受付中

韓国語講座初級編

~文字を覚えた人が次に学ぶこと~

難易度 ★★ (要基礎知識)

人文

講座の詳細・申し込み ▶



日時：4月13日(土)~2月22日(土) 13:00-14:30 各土曜日・全22回

対象者：文字(ハングル)が読める方 定員：35名 受講料：20,000円(全22回分)

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-03806.html>

I-siteなんば

講義概要

韓国語は日本語と語順がほぼ同じで、漢字由来の単語も多く、日本人にとって学びやすい言語のひとつです。本講座では、ハングルの学習が終わった段階の方を対象に、基礎的な文法をやさしく解説していきます。韓国語とその背景にある文化を勉強すれば、韓国ドラマや映画がもっと楽しくなりますよ。文法初チャレンジの方も、もう一度初めから文法をやり直したいという方も、一緒に楽しく学習しましょう。

講師 河 正一 (大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授)

河村 幸恵 (のらんな韓国語教室 代表/イベント通訳)

講義スケジュール



第1回 4月13日(土)	発音の変化 (20頁~27頁)	第12回 9月28日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)
第2回 4月27日(土)	입니다, 助詞「는/은」、 助詞「도」、라고/이라고 합니다	第13回 10月5日(土)	해요体、예요/이에요 (가/이 아니예요)
第3回 5月11日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)	第14回 10月19日(土)	助詞「로/으로手段」、助詞「보다」、 助詞のずれ
第4回 5月25日(土)	합니다体、助詞「를/을」	第15回 11月2日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)
第5回 6月8日(土)	助詞「에서」、助詞「에位置」、 否定形 (지 않다)	第16回 11月16日(土)	過去形、助詞「에게/에게서対象」
第6回 6月15日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)	第17回 12月7日(土)	고、고 싶다、요/이요
第7回 7月6日(土)	指示語、助詞「가/이」、 助詞「와/과」	第18回 12月21日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)
第8回 7月20日(土)	漢数詞、가/이 아닙니다	第19回 1月11日(土)	尊敬形 (가/이 어떻게 되세요、 尊敬形助詞)
第9回 8月3日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)	第20回 1月25日(土)	겠、ㄹ까요/을까요
第10回 8月17日(土)	固有数詞、助詞「에時間」、 助詞「에方向」	第21回 2月8日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)
第11回 9月7日(土)	助詞「에서/부터 ~까지」、否定 形「안」、를/을 좋아합니다	第22回 2月22日(土)	まとめ (インタビュー及び発表)

お申し込み方法について

以下は大阪公立大学生涯学習センターで実施する公開講座の一般的な受講の流れです。講座によって異なる場合がございますので、受講料のお支払い方法や注意事項については、各講座の詳細ページ及び受講案内を必ずご確認ください。

各講座の詳細は「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」に掲載します。



<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

Webサイトにアクセス

上記URLまたは二次元コードから「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」にアクセスし、ご希望の講座を検索してください。



大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト TOPページ画面



受付中の講座が画面に表示されます。

講座内容を確認

ご希望の講座をクリック（またはタップ）すると詳細ページへ進みます。

講義概要、スケジュール、申込方法等をお確かめください。

※本冊子に掲載していない講座もあります。

※各講座の詳細および申込フォームは、順次Webサイトに公開されます。

開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております。



次頁に続く



お申し込み方法について

前頁からの続き



(ご注意ください) 講座によってお申し込み方法が異なります。
必ず講座ごとに内容をご確認ください。

お申し込み



Webサイトからのお申し込み

各講座の詳細ページ「申し込む」ボタンから申込フォームへアクセスし、必要事項をご入力の上送信してください。

受付完了通知メールが届きますが、受講決定通知ではありません。

申込締切後、大学から受講案内メールをお送りします。



往復はがきによるお申し込み

往復はがきの往信用文面に必要事項をご記入の上お送りください。

※講座によりはがきでのお申し込みが不可の場合や記入する内容が異なる場合がございます。詳細は各講座のチラシまたはWebページの申込方法を必ずご確認ください。

申込締切後、大学から受講案内はがきをお送りします。

受講案内を受け取る



※応募者多数の場合は抽選の結果をお送りします。後日キャンセルが出た場合は、選に漏れた方の中から再抽選のうえ、繰り上げ当選のご案内をする場合があります。

個人情報について：

お申し込みの際の個人情報は、申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成及び本学公開講座のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

受講準備



対面講座

開講日までお待ちください。

受付で受講料をお支払いください。

(現金またはキャッシュレス決済)

※連続講座の場合は初回受講時に全回分をお支払いいただきます。

オンライン講座

受講案内に従い受講料をお支払いください(銀行振込またはオンライン決済)。また、インターネット環境やZoomアプリ等をご準備ください。

メールに記載のリンク等からオンライン講座に参加してください。

受講当日

* オンライン講座の受講方法はこちらをご覧ください ▶▶

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/application/>



大阪公立大学公開講座には、各種サービスをご利用いただける「会員制度」もございます。ぜひご登録ください。

会員制度について ▶

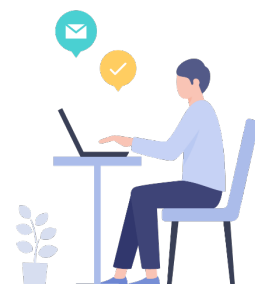


新規会員登録 ▶



* 会員登録は任意です。

* 登録にはメールアドレスが必要です。



受講にあたって

本学が実施する公開講座についてご案内いたします。公開講座にお申し込みいただく前に、以下の内容をよくお読みくださいますようお願いいたします。

1. 大阪公立大学公開講座のご案内

本学では学術研究の成果を公開することにより、地域社会に広く生涯学習の機会を提供することを目的として、公開講座を開催しています。

公開講座は、年齢・学歴を問わずどなたでも受講できます。対象者、受講料、開講日時など、講座ごとに受講条件が指定されていますので、Webサイト上の各講座のページ、公開講座ご案内パンフレット(半期ごと)、各講座の案内チラシなどで詳細についてご確認ください。

2. 開催形式

・対面講座

本学の施設を主な会場として受講いただきます。学外が会場となることもございます。

※自然災害等やむを得ない事情により、オンライン講座に変更となる場合がございます。

・オンライン講座

パソコン、タブレット、スマートフォンなどを使用して、好きな場所からYouTube、Zoom等にて視聴(受講)いただけます。

※パソコン、タブレット、スマートフォンなどの視聴用の端末及びYouTube、Zoom等を視聴できるインターネット環境が必要です。

※視聴にかかる通信費等は受講される方のご負担となります。

※視聴用の端末や視聴用ソフトに関するトラブル、ご自身の通信環境等が原因の問題や障害などにつきまして、個別の対応・補償はいたしかねます。

3. お申し込み・お支払い

講座によってお申し込み方法やお支払い方法が異なります。Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシをご確認ください。

講座の内容に応じて、受講に一定の資格・条件を付している場合があります。

講座の受講において、特別な配慮を希望される場合は、申し込み前に各講座の問い合わせ先までご相談ください。

受講料には消費税が含まれています。

お支払い方法に銀行振込が指定されている場合、振込手数料はご自身でご負担ください。

お支払い方法にオンライン決済または銀行振込が指定されている場合、支払額に過不足がないように十分にご確認ください。

4. キャンセルポリシー

講座開始前であれば、お申し込み後のキャンセルが可能です。ただし、お申し込み後に受講できなくなった場合は、各講座のページまたは各講座の案内チラシに記載の問い合わせ先で必ずご連絡ください。

講座開始後にキャンセルされた場合、受講料の返金はできません。

ご連絡なくキャンセルが続く場合、受講をご遠慮いただく場合がございます。

5. 受講

お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。

同伴や見学は、お断りいたします。

施設内は禁煙です。飲食については各施設のルールを順守してください。

貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

会場が本学施設の場合、車両でのご来学はご遠慮いただいております。公共交通機関あるいは近隣の有料駐車場をご利用ください。

講座の写真撮影、ビデオ撮影、録音、録画は禁止いたします。

本学の記録用として、対面講座で写真撮影またはビデオ撮影させていただく場合がございます。

本学の記録用として、オンライン講座で録画をさせていただく場合がございます。

6. 講座の中止・休講・補講など

受講者が一定数に満たない場合、その他やむを得ない理由により開講を中止する場合がございます。

自然災害、交通機関の事情、講師の都合、その他やむを得ない事情により講座を休講とする場合がございます。その際の際の交通費についての補償はできません。補講の有無については別途ご案内いたします。

休講や中止となった場合は、Webサイトの「お知らせ-休講情報」または「緊急のお知らせ」(情報がある場合のみトップページに掲載)にてお知らせするほか、メールなどで個別にご連絡を差し上げる場合がございます。

補講に出席できない場合でも受講料の返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

受講料をお支払いいただいた後に本学の判断により中止や休講となる場合、受講料の一部を返金することがあります。返金は、受講者の銀行口座への振込みのみとなります。

7. 資料

資料のみの販売はいたしません。

資料を複写、転載、配布、送信等二次利用することは固く禁じます。

講座によって、テキストを指定し、ご購入いただく場合がございます。

テキストを購入した講座が中止になった場合、ご自身で購入されたテキスト代についてのご請求・返金には応じられません。あらかじめご了承ください。

8. 受講資格の取消

以下のような好ましくない行為があった場合は、本学の判断により、教室からの退出、講座への出席禁止、あるいは損害の賠償を求める場合がございます。

- ・法令に違反する行為又は犯罪行為に関連する行為
- ・公序良俗に反する行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為
- ・反社会的勢力等への利益供与
- ・第三者になりすます行為
- ・本学の許可なく、公開講座の会場での営業、宣伝、広告、勧誘、その他営利を目的とする行為
- ・面識のない者との出会いや交際を目的とする行為
- ・公開講座の会場での他の講座受講生の情報を収集する行為
- ・宗教活動又は宗教団体への勧誘行為
- ・本学の許可なく、公開講座の内容の録音、録画その他の記録又は保存を行う行為並びに講座受講生以外に対し視聴可能にさせる行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等に過度の負荷をかける行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等への不正アクセス



- ・以下に該当し、又は該当すると本学が判断する情報を本学又は他の講座受講生に送信する行為
 - コンピューター・ウイルスその他の有害なコンピューター・プログラムを含む情報
 - 過度に暴力的、残虐的、猥褻な表現を含む情報
 - 差別を助長する表現を含む情報
 - 自殺、自傷行為、薬物の不適切な利用を助長する表現を含む情報
 - 反社会的な表現を含む情報
 - チェーンメール等の第三者への情報の拡散を求める情報
 - 他人に不快感を与える表現を含む情報
- ・本学教職員（外部講師を含む）、他の講座受講生へ迷惑となる行為や講義の進行を妨げる行為
- ・前述の行為を直接又は間接に惹起し、又は容易にする行為
- ・その他、本学が不適切と判断する行為

9. 個人情報の取扱い

お申し込み等において本学にご提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシーに基づき、講座申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。これらの利用目的以外には、一切使用いたしません。

<お願い>

上記とは一部異なる条件で講座を実施する場合がございます。講座の詳細につきましては、Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシを必ずご確認ください、ご了解いただいた上でお申し込みくださいますよう、お願いいたします。

大阪公立大学公開講座「受講にあたって」、よくある質問集「Q&A」はこちらに掲載しています。

受講にあたって ▶ <https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/howto/>



Q&A ▶ <https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/qa/>



生涯学習・公開講座Webサイトには、自由にご視聴いただける講義動画も掲載しています。

講義動画 ▼

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/movie/>



交通アクセス

本冊子に掲載している公開講座の会場

大阪公立大学 アクセスマップ



I-siteなんば

大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル 2階・3階

- 南海電鉄「なんば駅（中央出口）」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分
- 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分
- Osaka Metro御堂筋線「なんば駅（5号出口）」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
- Osaka Metro御堂筋線・四つ橋線「大国町駅（1番出口）」下車、東へ約450m、徒歩約7分
- Osaka Metro堺筋線「恵美須町駅（1-B出口）」下車、西へ約450m、徒歩約7分

I-siteなんば アクセスマップ



中百舌鳥キャンパス

堺市中区学園町1-1

- 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1000m、徒歩約13分
- Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅（5号出口）」から南東へ約1,000m、徒歩約13分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」・Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅」から南海バス（北野田駅前行）で約5分、「府立大学前」下車
- 南海本線「堺駅」から南海バス（北野田駅前行）で約24分
- JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス（北野田駅前行）で約14分、「府立大学前」下車

中百舌鳥キャンパス アクセスマップ





■お問い合わせ・チラシのご請求

大阪公立大学 社会連携課
(生涯学習センター)

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル 2階・3階
大阪公立大学I-siteなんば

Tel 06-7656-5112

Fax 06-7656-5203

E-mail gr-shak-ext01@omu.ac.jp

※受付時間：月～金曜日 9:00～17:30

(祝日および休業日を除く)

大阪公立大学
生涯学習・公開講座
Webサイト



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

2024年2月発行